

韓国農林畜産食品部プレスリリース (2018年11月21日 15:35)

## 忠清南道牙山市(ゴクギョチョン)野鳥糞便からH7型鳥インフルエンザ(AI)抗原検出

出典 URL :

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QEBSJTJGYmJzJTJGbwWFmcmEIMkY2OCUyRiMxODg0MyUyRmFydGNsVmlldy5kbvUzRmJic0NsU2VxJTNEJTI2cmdzRW5kZGVtdHIIM0QIMjZiYnNpCgVuV3JkU2VxJTNEJTI2cmdzQmduZGVtdHIIM0QIMjZwYXNzd29vZCUzRCUyNnNyY2hDb2x1bW4IM0QIMjZyb3clM0QxMCUyNmIzVmllld01pbmUIM0RmYWxzZSUyNnBhZ2UIM0QxJTl2c3JjaFdyZCUzRCUyNg%3D%3D>

(機械翻訳に基づく仮訳)

□ 農林畜産食品部(長官:イゲホ)は、忠南牙山ゴクギョチョンで採取した野鳥糞便に対する検査を実施したところ、11月21日にH7N7型AI抗原が検出されたと発表した。

○これにより農林畜産食品部は、AI緊急行動指針(SOP)により抗原が検出された地点を中心に、

- ①半径10kmの地域を「野生鳥獣類予察地域」に設定
- ②地域内の家きん及び愛玩鳥等の予察・検査、移動制御および消毒
- ③渡り鳥の飛来地と小河川などの近くの農家の防疫強化
- ④当該自治体に広域噴霧器など防疫車両を総動員して、毎日消毒を行うなど防疫措置を講じた。

※高病原性の有無など最終判定には1~2日所要予定

○これに併せて、全羅北道群山金剛号と忠清南道舒川ポンソン貯水池で、それぞれ11月13日と11月15日に採取した野生の鳥糞便を精密検査した結果、いずれも低病原性AIであると最終確定したと発表した。

※全北群山 Gumganho : H5N3型、忠南舒川ポンソン貯水池 : H5N9型

